

# 愛知県地震概況

## 令和6年（2024年）8月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

### ○概況

#### 1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況

8月に愛知県内で震度1以上を観測した地震が3回発生しました。

#### 2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震

① 8日 14時23分に静岡県中部でM3.3の地震（最大震度1 深さ30km）が発生しました。

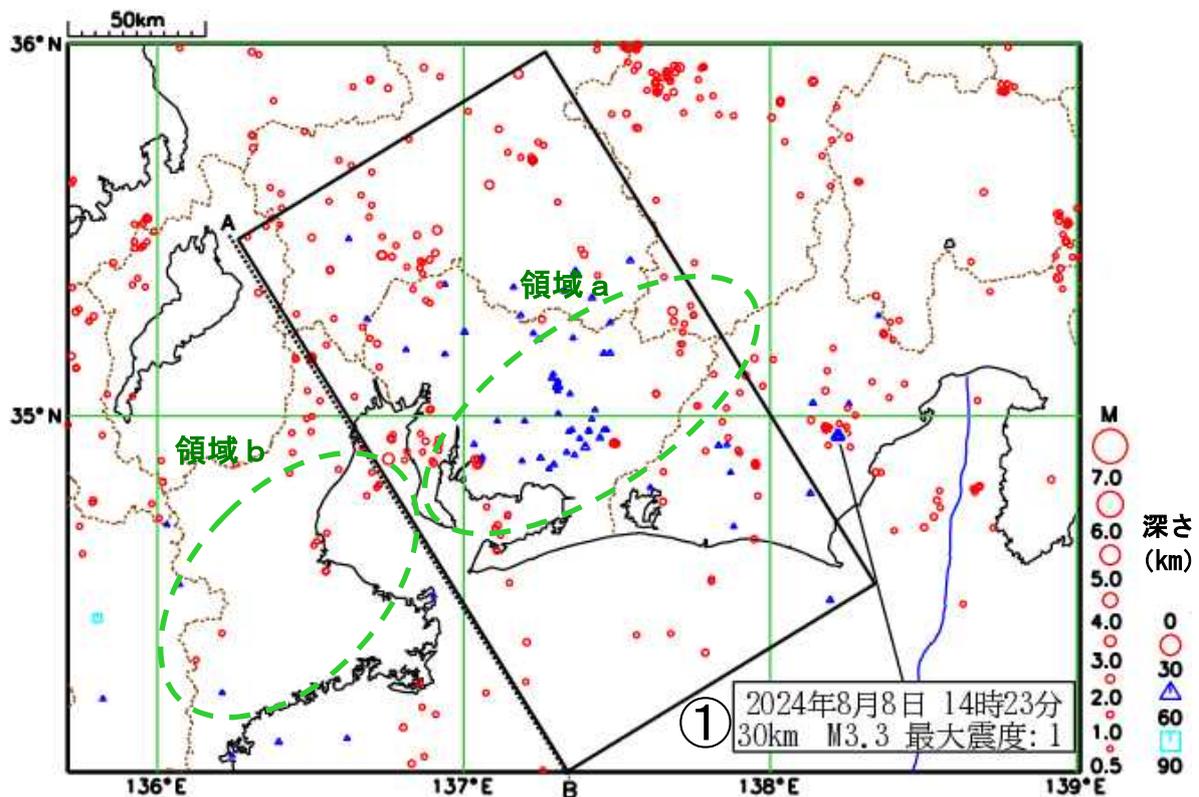
#### 3. 深部低周波地震の活動状況

・東海（領域a）

13日～20日

・紀伊半島北部（領域b）

7日～18日、23日

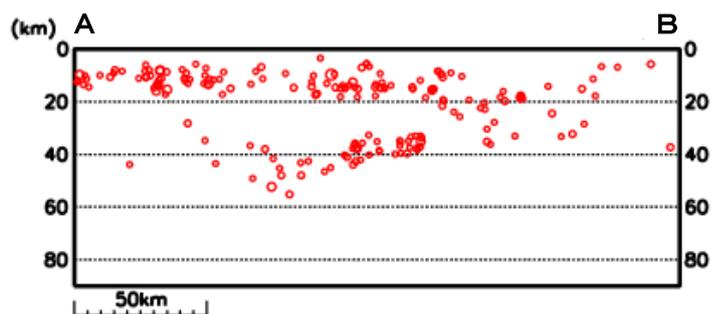


震央分布図（2024年8月1日～31日 深さ0～90km M≥0.5）

● 深部低周波地震（微動）

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。

（注）Mはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A-Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ25km程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

## ○県内で震度1以上を観測した地震

### 静岡県中部（1頁目震央分布図①）

8月8日14時23分に静岡県中部で発生したM3.3の地震（深さ30km）により、愛知県新城市、静岡県静岡市ほかで震度1を観測しました。（図1）

この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

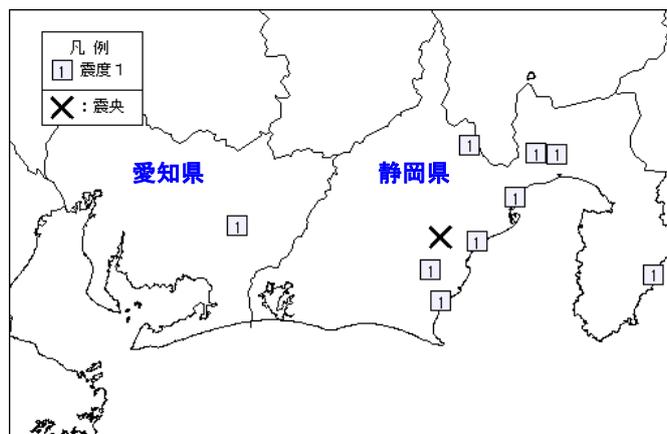


図1 8月8日14時23分 M3.3 震度分布図  
（観測点別、×：震央）

**日向灘（1頁目震央分布図領域外）**

8月8日16時42分に日向灘で発生したM7.1の地震（深さ31km）により、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。（図2）この地震は陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生しました。この地震は、Mw7.0で南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しています。

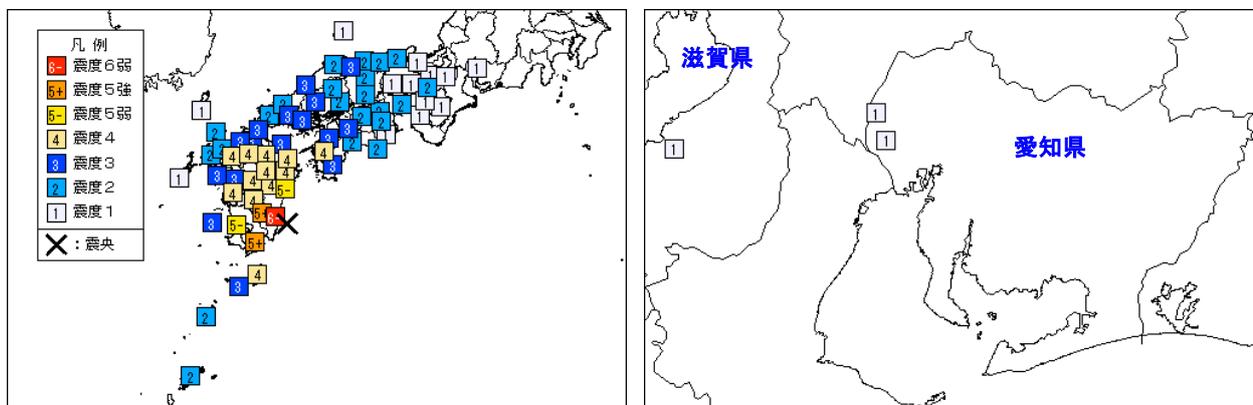


図2 8月8日16時42分 M7.1 震度分布図  
（左図 地域別、×：震央、右図（拡大図）観測点別）

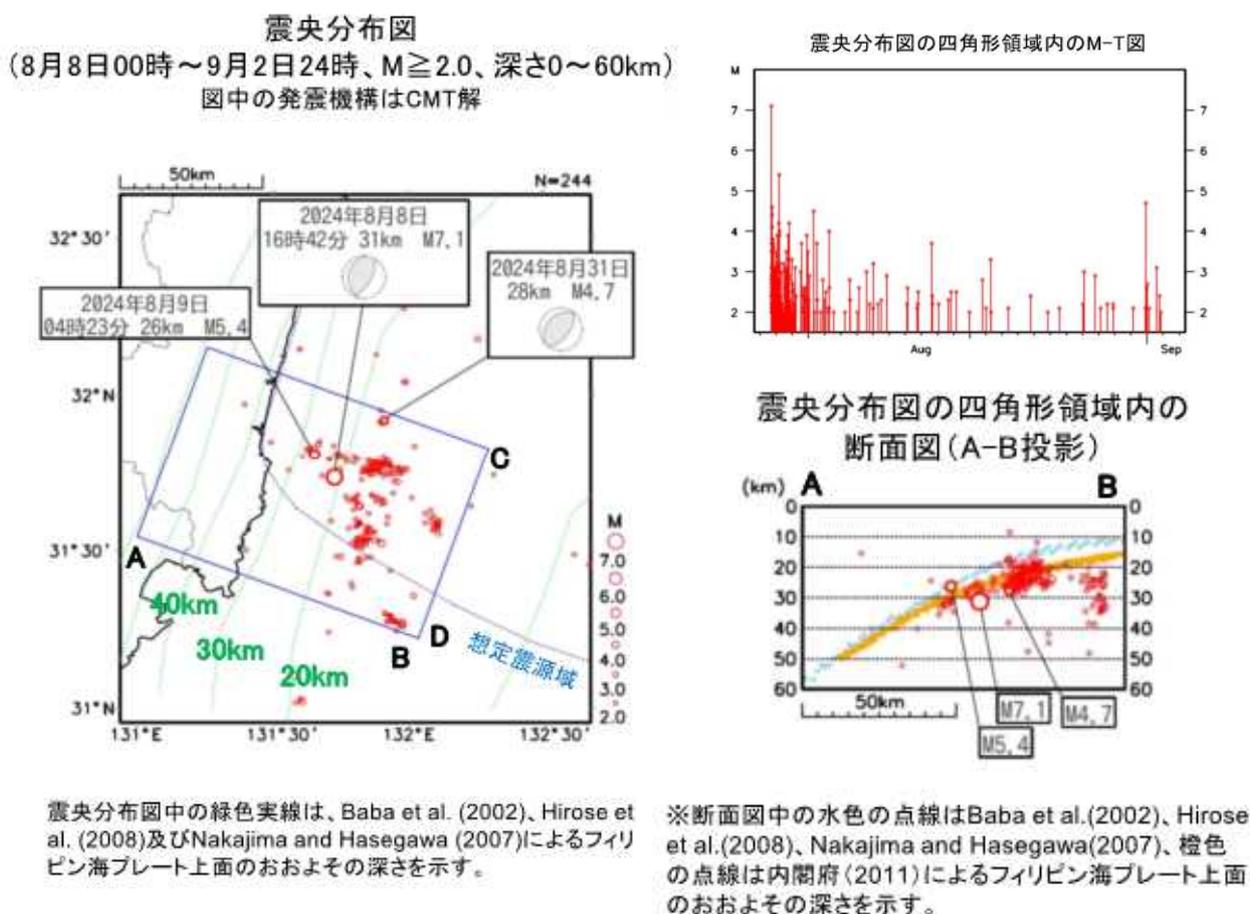


図3 8月8日00時から9月2日14時までの地震活動  
（左図 震央分布図、右上図 地震活動図、右下図 断面図）  
報道発表「南海トラフ地震関連解説情報（第10号）について」より抜粋

## 神奈川県西部（1頁目震央分布図領域外）

8月9日19時57分に神奈川県西部で発生したM5.3の地震（深さ13km）により、神奈川県厚木市・中井町・松田町・清川村で震度5弱を観測したほか、関東・東海・甲信越・近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。（図4）

この地震は地殻内で発生しました。

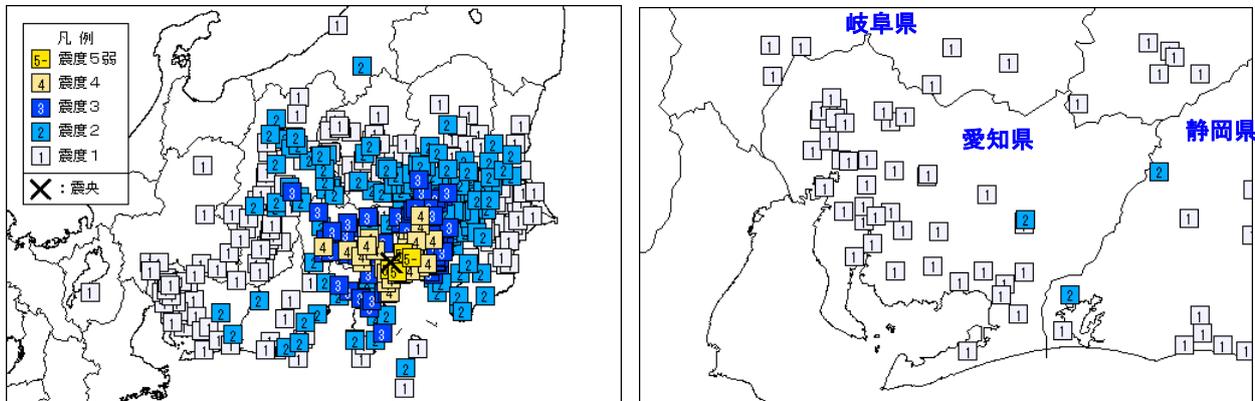


図4 8月9日19時57分 M5.3 震度分布図

（左図 市町村別、×：震央、右図（拡大図）観測点別）

## ○震度1以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年08月08日14時23分	静岡県中部	34° 56.7' N	138° 13.2' E	30km	M3.3
各地の震度 愛知県 震度 1：新城市作手高里松風呂＊					
2024年08月08日16時42分	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1
愛知県 震度 1：愛西市稲葉町，愛西市江西町＊					
2024年08月09日19時57分	神奈川県西部	35° 24.6' N	139° 09.6' E	13km	M5.3
愛知県 震度 2：新城市作手高里松風呂＊ 震度 1：豊橋市向山，豊川市赤坂町＊，豊川市小坂井町＊，豊川市諏訪＊，豊川市一宮町＊ 蒲郡市水竹町＊，新城市作手清岳，新城市作手高里繩手上＊，田原市田原町＊ 名古屋北区菟野通＊，名古屋西区八筋町＊，名古屋中村区大宮町＊ 名古屋瑞穂区塩入町＊，名古屋熱田区一番＊，名古屋中川区東春田＊ 名古屋港区金城ふ頭＊，名古屋守山区下志段味＊，名古屋緑区有松町＊ 名古屋天白区島田＊，岡崎市若宮町，瀬戸市追分町＊，半田市東洋町＊，刈谷市寿町＊ 豊田市小坂本町，豊田市小坂町＊，豊田市大沼町＊，安城市横山町＊，西尾市矢曾根町＊ 東海市加木屋町＊，大府市中央町＊，知立市弘法＊，尾張旭市東大道町＊ 高浜市稗田町＊，岩倉市川井町＊，東郷町春木＊，東浦町緒川＊，幸田町菱池＊ 清須市春日振形＊，清須市西枇杷島町住吉＊，清須市清洲＊，北名古屋市井瀬木＊					

（注 ＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※2020年9月に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

## 「南海トラフ地震に関連する情報について」

駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせします。

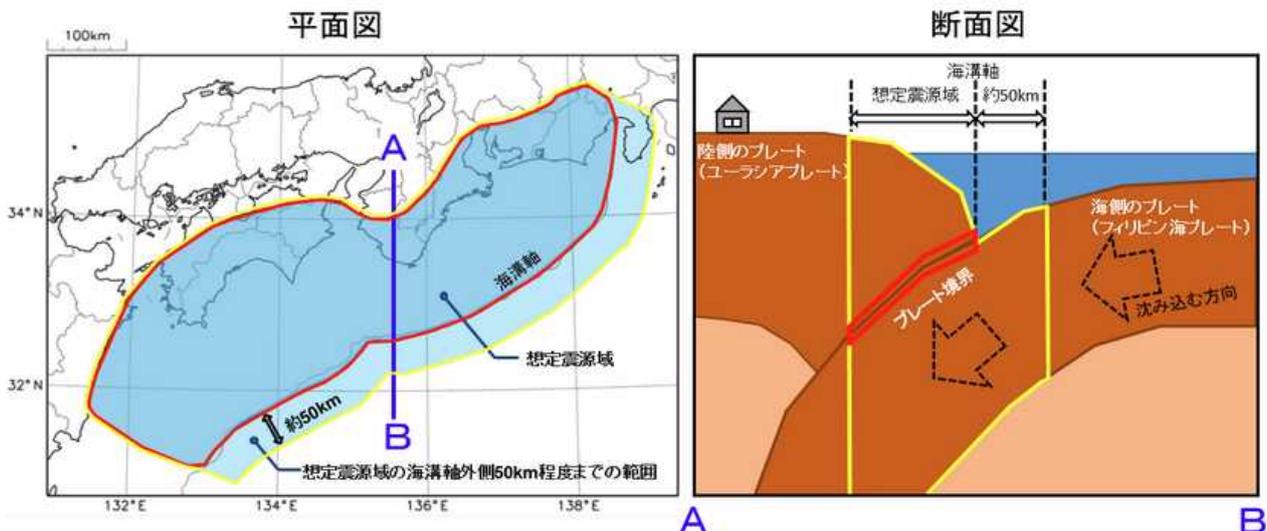
「南海トラフ地震に関連する情報」は、以下の2種類の情報名で発表します。

### 南海トラフ地震臨時情報

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

### 南海トラフ地震関連解説情報

- ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）



想定震源域内（科学的に想定される最大規模の南海トラフ地震の想定震源域（中央防災会議、2013）のプレート境界部（図中赤枠部）と監視領域（想定震源域内および想定震源域の海溝軸外側50km程度：図中黄枠部）



（参考）

南海トラフ地震に関連する情報が発表された際の行動等について説明した小冊子です。

東側編は、四国沖で先に地震が発生すると想定した南海トラフの東側地域にお住まいの方向けの内容になります。

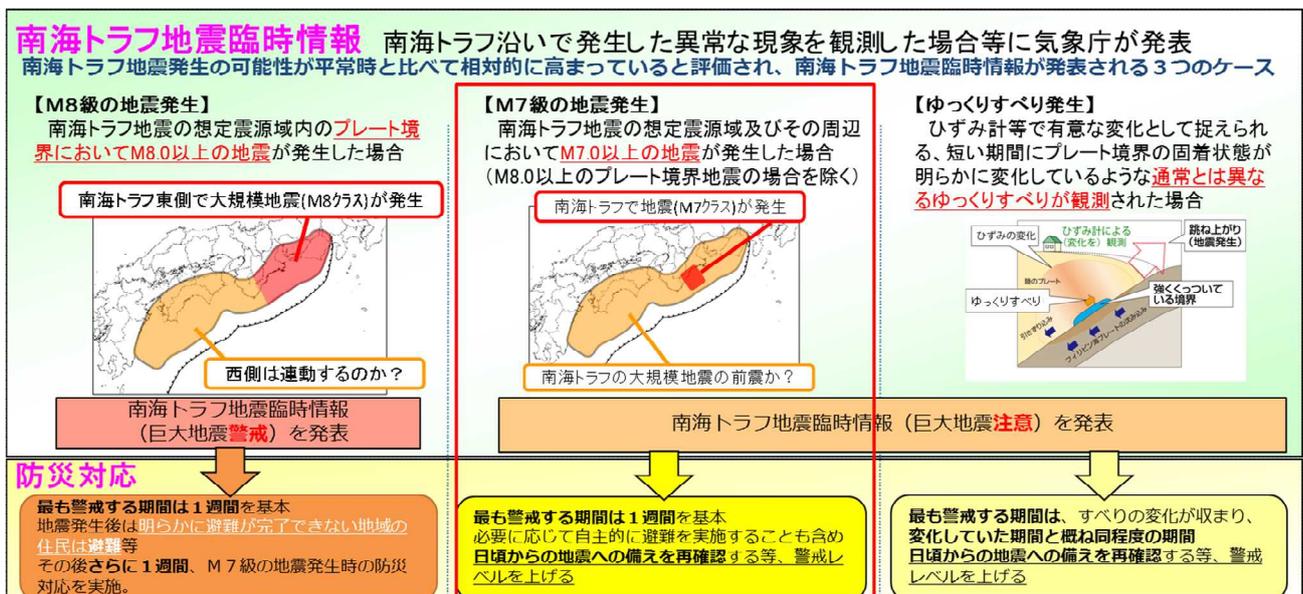
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq\\_manga/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html)

（作成：内閣府・消防庁・気象庁 発行：令和4年）

## 8月8日16時43分の日向灘の地震について

## ○概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	8月8日16時43分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	8月8日16時42分
マグニチュード	7.1 (暫定値)
発生場所	日向灘 深さ 31km (暫定値; 速報値 深さ約 30kmから更新)
発震機構	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震
震度	【最大震度6弱】宮崎県の日南市(にちなんし)で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測
地震活動の状況 8月15日14時00分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が23回発生 (震度3:2回 震度2:5回 震度1:16回)
長周期地震動の観測状況	宮崎県南部山沿いで長周期地震動階級3を観測



※Mはモーメントマグニチュードを表す。これは、岩盤のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとにして計算したマグニチュードで、その値を求めるには高性能の地震計のデータを使った複雑な計算が必要のため、地震発生直後迅速に計算することは困難である。

- 2024年8月8日16時42分にマグニチュード7.1、深さ31kmの地震が発生。宮崎県日南市(にちなんし)で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測。
- この地震により四国から九州にかけて16時44分に津波注意報を発表(22時00分に全て解除)。宮崎港で0.5mなど津波を観測。
- 8日17時30分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を開催し、「南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる。」と評価。
- 19時15分に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表。今後、もし大規模地震が発生すると、強い揺れや高い津波を生じる可能性。これを受け、防災担当大臣より、関東から沖縄側の太平洋側の地域の方に対し、8日の地震から1週間、家具の固定等、日頃からの地震の備えの再確認や揺れを感じたら直ちに避難できる態勢をとるよう呼びかけ。
- 8日の地震の発生後、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されていない。政府では、8月8日16時43分頃の日向灘を震源とする地震の発生から1週間経過したことから、15日17時をもって、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表に伴う政府としての「特別な注意の呼びかけ」を終了。

## 防災上の留意事項と今後の見通し（令和6年8月29日発表）

- ・令和6年8月8日に発生した日向灘の地震の後、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されていません。
- ・過去の世界的な事例をみると、大規模地震の発生の可能性は、最初の地震（8日の地震）の発生直後ほど高く、時間の経過とともにその可能性が低下していく傾向がありますが、最初の地震から1週間以上経過した後に大規模地震が発生した事例もあります。
- ・南海トラフ沿いの大規模地震（マグニチュード8から9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。
- ・南海トラフ沿いでは異常な現象が観測されず、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。
- ・南海トラフ沿いでは、いつ大規模地震が発生してもおかしくないことに留意し、「日頃からの地震への備え」については、引き続き実施してください。

## ○日頃からの地震の備え

内閣府（防災）の以下資料を参照してください。

■ 情報が発表された際に、慌てず防災行動を実施するには、日頃からの地震への備えが大切。下記のような備えは日頃から行き、情報が発表された際に再確認することが重要。

## 迅速な避難体制・準備

- ✓ 地域のハザードマップでどのような危険があるかを確認する
- ✓ 安全な避難場所・避難経路等を確認する
- ✓ 家族との連絡手段を決めておく
- ✓ 非常持出品を準備しておく
  - ・食料、水、常備薬
  - ・懐中電灯、携帯ラジオ
  - ・身分証明書、貴重品 等



## 出火や延焼の防止対策

- ✓ 火災警報器の電池切れがないことを確認する
- ✓ 漏電遮断機や感震ブレーカー等を設置する



## 室内の対策

- ✓ 窓ガラスの飛散防止対策をする
- ✓ タンス類・本棚の転倒防止対策をする
- ✓ ベッド頭上に物を置かない

## 地震発生後の避難生活の備え

- ✓ 水や食料の備蓄を多めに確保する
- ✓ 簡易トイレを用意する
- ✓ 携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー等を準備する



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)に伴う政府としての特別な注意の呼びかけの終了について  
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2408/15a/202408151800.html>